

平成28年3月30日

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド」による投資について

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣秀悦）は、株式会社岩手銀行などと組成した「岩手新事業創造ファンド」の投資先として医療機器の基盤技術開発・製造販売を行う**セルスペクト株式会社**（以下「セルスペクト」本社：盛岡市、代表取締役 岩渕拓也）に出資を行うことを決定しましたので、下記の通りお知らせします。

セルスペクトは、岩手のものづくり企業と連携した医療機器開発の迅速化を目指し、平成26年4月設立したベンチャー企業で、岩手県にライフサイエンスのクラスターを作ることを目的に設立した「**TOLIC**」（**T**o**h**o**k**u **L**ife **s**cience **I**nstrument**s** **C**l**s**ter）の中心メンバーとして参画し、岩手から国内外に向けた医療分野のビジネスモデル形成に取り組むなど、事業の成長が期待できることから、今回の出資を決定しました。

記

1. 投資決定先の概要

企 業 名	セルスペクト株式会社
代 表 者	岩渕拓也
本社所在地	岩手県盛岡市北飯岡一丁目10番82号
設 立	平成26年4月
事 業 内 容	医療機器の基盤技術開発・製造販売 臨床検査装置・診断薬の開発・製造販売 新規バイオマーカーの臨床開発
投資額・方法	非公表・株式取得
企業の特徴	当社は首都圏で研究機関と医薬品の臨床開発に取り組んでいた岩渕氏が、岩手のものづくり技術と連携した医療機器等開発に取り組むため設立しました。 平成26年12月に生理的ストレスマーカー検査装置等の量産試作に成功しました。また、子宮内膜症性卵巣癌の悪性化を鑑別できるバイオマーカーを発見し、非侵襲な検査装置の開発に着手しています。 同社は今後、特にデジタルヘルスケア技術の構築に注力し、個別化医療、非侵襲医療を実現させるアイテムの開発と製造販売を推進していきます。

2. ファンドの概要

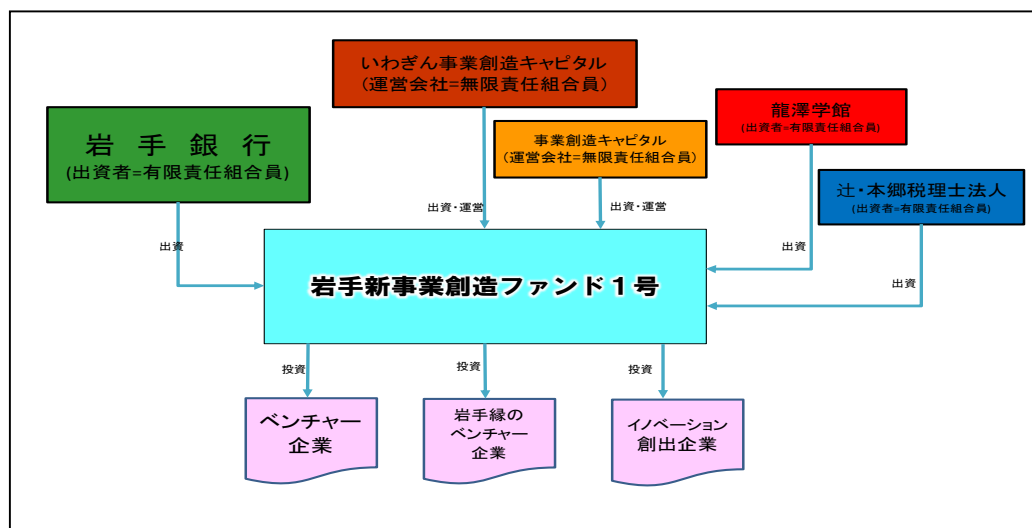
名 称	岩手新事業創造ファンド1号投資事業有限責任組合
設 立 日	平成27年6月12日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行 学校法人龍澤学館 辻・本郷税理士法人
期 間	投資期間7年、存続期間10年（但し、必要があれば、期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

〔投資方針〕

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の企業等でイノベーションの創出を目指す企業
- (4) そのビジネスモデルが今後岩手県にとって参考になりうるような岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以 上

＜本件に関するお問合せ先＞

経営戦略室 猪俣 TEL：019-621-1470

平成29年11月30日

報道機関各位

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド」による投資について

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣秀悦）は、株式会社岩手銀行などと組成した「岩手新事業創造ファンド」の投資先として医療機器の基盤技術開発・製造販売を行う**セルスペクト株式会社**（以下「セルスペクト」本社：盛岡市、代表取締役 岩渕拓也）に出資を行うことを決定しましたので、下記の通りお知らせします。

セルスペクトは、岩手のものづくり企業と連携した医療機器開発の迅速化を目指し平成26年4月に設立されたベンチャー企業で、従来より行っていたPOCT(Point of Care Testing)に関連する分析装置および診断薬の開発等に加え、新たにIT及びビッグデータを活用したヘルステック事業を展開するなど今後の事業の成長が期待できることから、今回の出資を決定しました。なお、セルスペクトには平成28年3月に初回の出資を行っており、本件は2回目の出資となります。

また、セルスペクトは、みずほキャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 齊藤 肇）、三菱UFJキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 半田 宗樹）に対しても第三者割当増資を実施しています。

記**1. 投資決定先の概要**

企 業 名	セルスペクト株式会社
代 表 者	岩渕拓也
本社所在地	岩手県盛岡市北飯岡一丁目10番82号
設 立	平成26年4月
事 業 内 容	医療機器の基盤技術開発・製造販売 臨床検査装置・診断薬の開発・製造販売 新規バイオマーカーの臨床開発
投資額・方法	非公表・株式取得
企業の特徴	当社は首都圏で研究機関と医薬品の臨床開発に取り組んでいた岩渕氏が、岩手のものづくり技術と連携した医療機器等開発に取り組むため設立しました。 平成29年10月には株式会社薬王堂（代表取締役：西郷辰弘、矢巾町）とヘルステック・ビッグデータ利活用事業に関する協業契約の締結を発表しています。

2. ファンドの概要

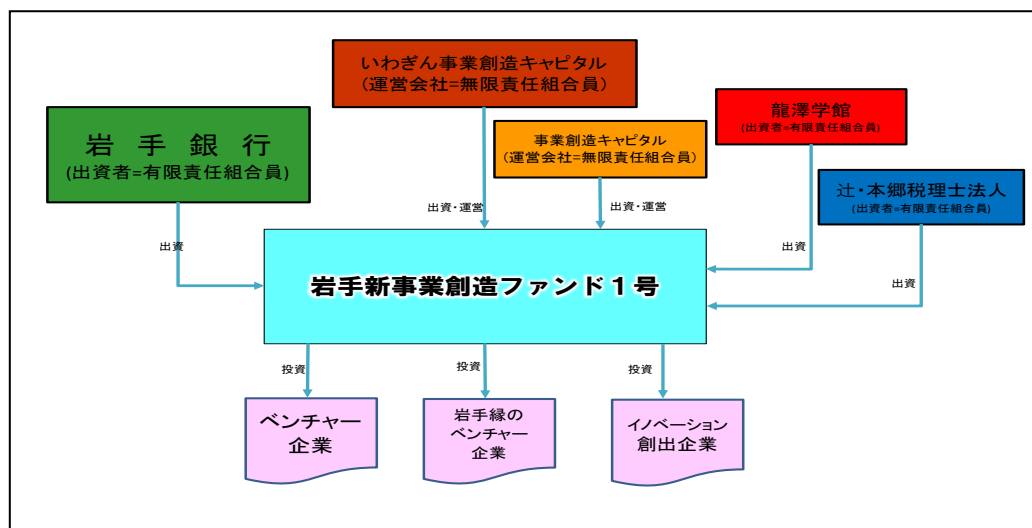
名 称	岩手新事業創造ファンド1号投資事業有限責任組合
設 立 日	平成27年6月12日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行 学校法人龍澤学館 辻・本郷税理士法人
期 間	投資期間7年、存続期間10年（但し、必要があれば、期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

〔投資方針〕

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の企業等でイノベーションの創出を目指す企業
- (4) そのビジネスモデルが今後岩手県にとって参考になりうるような岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以 上

＜本件に関するお問合せ先＞

経営戦略室 千葉 TEL：019-621-1470